

愛河

令和5年度
高雄日本人学校 学校だより
12月号

令和5年11月30日 Tel.07-722-0537



❖ 校訓「高雄の子ども」たくましい子 考える子 思いやりのある子 ❖

有意義な体験学習、異文化交流ができました

まだ日中は強い日差しが照り付ける11月でしたが、各学年にて多くの体験学習を実施しました。

◇11月2日(木) **烏山頭ダム見学【小学部4年】**…日本人技師の八田與一氏が設計・建設したダムを見学しました。業績のすごさを改めて知るとともに、広大な敷地に圧倒されました。



◇11月9日(木) **郵便局見学【小学部2年】**…高雄市郵政総局に出掛けました。台湾の郵便の歴史を学び、珍しい切手を見ることができました。実際に郵便局の窓口で、葉書の投函も体験できました。



◇11月14日(火) **秋探し【小学部1・2年】**…「春探し」に引き続き、衛武營都会公園に出掛けました。年間を通して温暖な高雄の気候ですから、日本のような紅葉やどんぐりといった秋は見つけられなかったようですが、生き物の姿や春とは違う植物の色合いを見つけることができましたようです。

◇11月16日(木) **消防署見学【小学部3年】**…高雄市政府消防局第一大隊新興分隊に出掛けました。消防車や救急車の仕組みを学んだり、消防士が普段から取り組んでいる訓練の内容を知ったり、高雄の生活の安全を守る消防局の働きを詳しく学習することができました。



◇11月20日(月)、22日(水)、23日(木) **中正國小との交流会**

【小学部各学年】…中正國小の子供たちを招待して、本校にて交流会を行いました。ホスト側となる高雄日本人学校の子供たちが各学年で工夫を凝らして準備をしてきましたが、お店屋さんごっこ、日本の昔遊び、体を動かす体験型ゲームなどの活動をとおして交流しました。活動の中では、子供たちが中国語を用いて司会進行をしたり、簡単な中国語で自己紹介したりするなど、日頃取り組んでいる中国語の学習の成果も発揮していました。どちらの学校の子供たちも大変にこやかな笑顔で、思わずハイタッチしたり、歓声が上がったりする場面が見られ、とても友好的な雰囲気でした。



このように、高雄日本人学校では地域の歴史や自然にふれたり、施設で学んだり、また、隣接する現地の学校と気軽に交流したりと、台湾にある学校だからこそ実施可能な活動に取り組んでいます。引き継がれてきた歴史や自然を大切に作る心、望ましい職業観・勤労観、そして、お互いの文化を尊重し、相手を思いやる心が育つよう、今後も教育活動を推進していきます。中学部においても、12月6日(水)の鹽埕國中交流会に向けて準備を進めており、和太鼓演奏の練習にも力が入っています。中学部の生徒たちのおもてなしの姿が、今から楽しみです。

職員も頑張っています！中正國小日本語教育

本校では、職員が中正國小にて日本語教育指導も行っています。今年度は、11/7を皮切りに角陸教諭、山中教諭、松浦教諭が担当しました(それぞれ全3回)。日本語での簡単な会話や「じゃんけん」、日本語を用いたビンゴなど、子供たちが日本に興味をもてるよう工夫を凝らして指導を行いました。指導後は、「こんにちは」と元気よく挨拶をしてくる中正國小の子供たちが多いです。嬉しいことですね。

